



米 FRB は利下げを急がず、7 月の 0.5% 利下げは行き過ぎ

米連邦準備理事会（FRB）当局者は早急な利下げは行き過ぎとのコメントを出した。7 月は 50bp ではなく、25bp の利下げを示唆。

6 月の FOMC で唯一利下げに投票したブロード・セントルイス連銀総裁は、空白になっている FRB 理事への打診が、政権よりあったことを認めた。

（ロイター 2019/6/25 より）

2019/06/26

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社
登録番号：関東財務局長（金商）第 3102 号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
HP : www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

セントルイス連銀総裁：保険の意味での米利下げ実施に「良い時期」

セントルイス地区連銀のブロード総裁はこの日、7月の連邦公開市場委員会（FOMC）で50ベースポイント（bp）の利下げは必要ないとの考えを表明。「現状を踏まえると、50bpの利下げは行き過ぎと感じる」とし、「50bpの利下げが必要な状況にあるとは考えていない。しかし、25bpの利下げには前向きになるだろう」と語った。ブロード氏は先週、今月のFOMCで反対票を投じたことについて、低インフレと経済成長見通しを巡る不透明感により利下げが正当化されると感じたことと述べていた。

ブロード総裁はブルームバーグテレビジョンとのインタビューで、「米経済は年後半に2%未満まで成長が減速する見通しだ。緊急対策を講じる必要はないと思う。これはどちらかと言えば保険の一種だ」と語った。

米連邦公開市場委員会（FOMC）が6月に政策金利を据え置いたことから、7月の定例会合で利下げする確率は高まったとも指摘した。

米経済に関しては「インフレは目標を下回っている。これは驚くべきことだ。成長率は大方の予想よりも高い水準で推移している。労働市場は非常に堅調だ」と話した。

（2019/6/25 ブルームバーグより）

パウエル議長、FRB当局者、米大統領や市場の大幅利下げ圧力をけん制

パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長はこの日、ニューヨークの外交問題評議会（CFR）の講演で、米経済が堅調に推移すると見込まれる一方、通商問題などを巡る不確実性が利下げの根拠になり得るかどうかを見極めようとしているとし、「不確実性が引き続き見通しを圧迫し、追加緩和の必要性につながるのかといった疑問にわれわれは取り組んでいる」と述べた。「多くの連邦公開市場委員会（FOMC）参加者は多少の追加緩和策を講じる根拠は強まったと判断しているが、金融政策は個別のデータや短期的な心理の振れに過度に反応すべきでない点にも留意している」と述べ、「今後の経済見通しに関する情報を注意深く監視しながら、景気拡大の維持に向け適切に行動する」と強調した。

また、FRBは「短期的な政治圧力から隔離していると表明し、トランプ大統領の利下げ要求をけん制した。トランプ大統領を名指ししなかったものの、FRBが政治的干渉から独立していることの重要性を強調。「米金融当局は短期的な政治的圧力から守られている。これはしばしば当局の独立性と言われる」と指摘。「議会は米金融当局をこうした方法で守る選択をした。政策が短期の政治的利害に屈することでしばしばダメージが生じたことが理由だ」と述べた。

（2019/6/25 ロイター、ブルームバーグより）

FRB理事職の打診あった、現職に満足と回答＝セントルイス連銀総裁

米セントルイス連銀のブロード総裁は25日、米連邦準備理事会（FRB）の理事職就任についてトランプ政権から打診があったが、現在の職務を離れることは検討していないと明らかにした。

ここ数カ月の間に打診があったという。トランプ大統領は空席となっている2つのFRB理事のポストを巡る人事を検討している。同時に、FRBに対する利下げ圧力も強めている。ブロード氏はこれまでに利下げの必要性を主張しており、今月の連邦公開市場委員会（FOMC）では据え置きに反対票を投じた。

ブロード氏は「打診があったが、現在の職務に満足している」と述べ、こうした話が先に進むかは分からない、とコメントした。

米政権当局者が25日に語ったところによると、トランプ大統領は近くFRB理事候補を指名したい考えという。

ブロード氏は経済学の博士号を持ち、中銀での経験が長いことから上院の承認を得られる可能性が高いほか、早くから利上げ停止を主張するなど、トランプ大統領にとっては多くの条件を満たす候補となる。

ブラード氏は25日、6月に利下げを主張した理由の一部は戦略的なもので、将来の行動を約束するより今動くべきと判断したと明らかにした。

また、FRBが次の会合で25ベースポイント（bp）の利下げに踏み切り、年内に2回目の利下げを行えば、経済の「ソフトランディング」が可能になり、2020年も成長を持続させる一助になると指摘。「FRBの政策はやや引き締めめと感じた」とし、現時点で1回措置を講じ、後にもう1回行動すれば、政策は「やや緩和的」になり、インフレや成長の見通しを下支えするとの見方を示した。

（2019/6/25 ロイターより）

CME 上場の FF 金利先物から計算した FF 金利予測：

<https://www.cmegroup.com/trading/interest-rates/countdown-to-fomc.html>

米短期金利先物市場から分析すると、年内3回の利下げを織り込みつつあり、来年春には4→3回分(1%)の利下げを織り込んでいる。ただし、先週のFOMC後の極端な利下げ予想は若干修正されつつある模様です。

次回以降のFOMC日程でのFF金利予測確率

| FOMC開催日 | 1.00-1.25 | 1.25-1.50 | 1.50-1.75 | 1.75-2.00 | 2.00-2.25 | 2.25-2.50(現状) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 7/31 | | | | 26.1% | 73.9% | 0% |
| 9/18 | | | 20.5% | 63.6% | 15.9% | 0% |
| 10/30 | | 8.1% | 37.5% | 44.8% | 9.6% | 0% |
| 12/11 | 3.8% | 22.0% | 40.9% | 28.2% | 5.1% | 0% |
| '20/1/29 | 9.9% | 28.3% | 36.7% | 20.5% | 3.4% | 0% |
| '20/3/18 | 13.7% | 30.1% | 33.3% | 16.9% | 2.7% | 0% |
| '20/4/29 | 13.7% | 30.1% | 33.3% | 16.9% | 2.7% | |

出所：CMEグループ 2019/6/25時点